

## 「HP掲載文」

# 2000年1月1日～2015年12月31日に川崎医科大学附属病院にて 乳がんの診断・治療を受けた患者さんへのお知らせ

### 課題名：乳癌の予後や治療効果の予測因子に関する臨床病理学的検討

乳腺甲状腺外科学教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、2000年1月1日～2015年12月31日に当院において乳がんを診断され、治療を受けられた患者さんについて、後方視的調査研究を実施します。

乳がんにおける予後や治療効果を予測する因子を検討することを目的としています。

研究期間は、倫理委員会承認日～2年間の予定です。

治療介入を伴わない既存資料のみを用いた後方視的研究であるため、新たに人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。

なお、今回の研究データを将来の研究のために用いたり、他の研究機関に提供する可能性があります。その際には研究課題について倫理委員会の審査を再度受け承認を得て実施いたします。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

この研究課題を実施する関係者には、アストラゼネカ（株）、中外製薬（株）、武田薬品工業（株）、エーザイ（株）、大鵬薬品工業（株）、日本化薬（株）から奨学寄付金の受け入れ、および武田薬品工業（株）より報酬・謝礼・原稿料などの受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。なお、上記企業は、本研究課題には直接関係はない企業です。

研究資金としては、主任研究者の教員研究費を充てる予定です。

研究に関してご質問のある方や研究への参加を希望されない方は、下記までご一報下さいますようお願い致します。

### 【問い合わせ先】

担当者：所属 乳腺甲状腺外科学 職名 教授 氏名 紅林淳一

TEL：086-462-1111（内線 26335）

FAX：086-462-1199

E-mail：kure@med.kawasaki-m.ac.jp